

北山古墳出土の短甲

こふんじだい
古墳時代の
てつ
鉄のよろいだ！！



虎御前山遺跡

とらごぜん
市指定史跡

こふんじだい
古墳時代

（1800年前～1400年前）

古墳時代の鉄のよろい



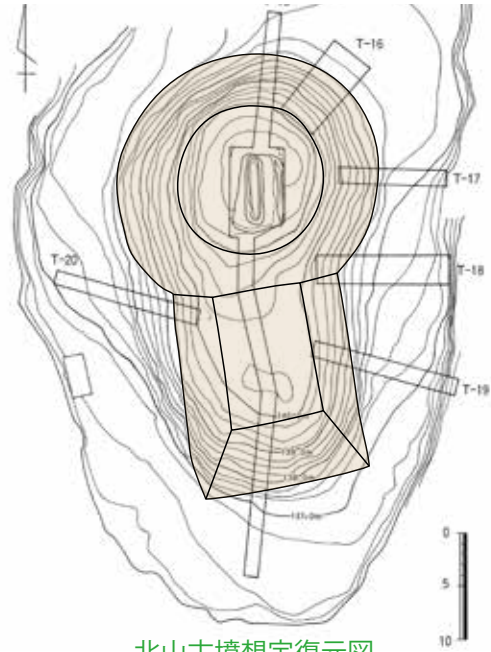
とらごぜんやまいせき 虎御前山遺跡は現在の長浜市中野町にある虎御前山の上にあります。遺跡は鉄製のよろいが出土した北山古墳のほか、いくつかの古墳があった跡が見つかっています。戦国時代には山城として使われ、古墳がつくられた地形を利用してたくさんのとりでがつけられました。

長浜市の遺跡 10

長浜市中野町・湖北町河毛
昭和56年2月19日指定

北山古墳

北山古墳は虎御前山の南に張り出した尾根の
 上にあります。全長 43 m の前方後円墳です。
 古墳時代の中ごろにつくられたと考えられてい
 ます。後円部の中央に長さ 5.6 m もの長い木製の
 棺おけを埋めた穴の跡がありました。棺おけ
 は腐ってなくなりましたが、穴の底の形が
 丸く湾曲していたことから筒状の木の棺おけ
 「割竹形木棺」が埋められていたと考えられま
 す。穴全体に赤い顔料が塗られ、よろいのほ
 か、銅製の鏡と鉄製の剣、刀子が出土しました。
 埴輪や葺き石は見つかっていません。



北山古墳想定復元図

様々な副葬品

◆ たんこう 短甲



よろいの復元図



古墳時代のよろい「短甲」の一種です。鉄でできており、
 胸と腹を守る前側と、背中を守る後ろ側に分かれています。
 ひもなどを使って身につけたと考えられます。

このよろいは全国的に出土している古墳時代のよろいのな
 かでも変わった形をしています。北山古墳に葬られた豪族が
 独自に作らせたものかも知れません。

どうたい
 胴体を守るよろいだ！

◆ 銅鏡



銅鏡

左の銅製の鏡は「じゅうたいきょう獣帯鏡」という中国から伝わった鏡です。東西南北の方角を守る神獣が描かれています。またそのほかに「長」「子」「孫」などの漢字が書かれています。「長く子孫が続く」というおめでたい意味がこめられているのでしょう。

鏡は部分的に磨り減っています。古墳に葬られた人が長い間使っていたものでしょうか？

◆ 鉄剣・刀子



鉄剣と刀子

上の写真は鉄製の剣と刀子（現在でいうところのナイフ）です。鉄剣は全長約 70 cm、刀子は全長約 10 cm です。鉄剣には布を巻きつけた跡が残っています。

北山古墳の副葬品は鏡・剣・よろい・刀子がいずれも 1 点ずつ出土しています。鏡の磨り減った様子や、よろいの特殊な形などから、副葬品のいずれも北山古墳に葬られた人が生きていた時に愛用していたものかもしれません。

◆ 虎御前山城

虎御前山は中世の戦国時代には横山古墳群（横山城）と同じように古墳をつくったあと、山城が築かれます。

この山城は織田信長が小谷城にこもる浅井長政を攻めるための拠点として使われ、古墳の墳丘を壊して砦がいくつもつくられました。

だいじ
大事なものを
おさ
納めたのだな！



古墳からはたくさんの武器やよろいが出土することがあります。よろいはさまざまなパーツに別れ、精巧につくられています。パーツにはそれぞれ名前がつけられています。



● 交通アクセス

公共機関：JR 北陸本線「虎姫駅」下車、虎御前山 登山道のぼる
車：県道 丁野虎姫長浜線より「虎御前山教育キャンプ場」付近

● お問い合わせ

ながはましぶんかざいほご
長浜市文化財保護センター
〒526-0802 滋賀県長浜市東上坂町 981 TEL 0749-64-0395